

### 3. 商工・労働

	年代	住所	タイトル	意見等
1	30代	鳴門市	地域経済の活性化について	○後藤田正純徳島県知事様が「経営者」の観点からの地域経済の活性化で地域経済を前進させてください。 ※ 具体的には、地域地場産業の産業振興(製菓・創菓産業、炭素繊維素材産業、食品加工産業など)
2	30代	鳴門市	地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生	○後藤田正純徳島県知事様の政治主導で「徳島県版ニューデール経済政策」の発動をしてください。 ※医療工学産業、ゲノム遺伝子産業、バイオ産業、健康科学産業、全固体電池産業、次世代半導体産業などの新産業の創生
3	40代	三好市	格差是正と人口減少について	徳島県内でも、県西部は特に高齢化進んでいます。働き世代は県外で就職し、子どもは少ない。働く場所は、中小零細企業しかない。そして何より、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町は、働く場所が、医療介護しかないのが、現実です。その上働いてる人達の平均年齢が、58歳と高齢化が顕著です。30代～40代、そして若者が働く所がなく。賃金も、香川や、愛媛に比べやすく、結果負のスパイラルが起きてる状況です。県や、県西部の市町村が、全く対策を、何十年としてこなかった結果です。その上、医療介護施設、病院は、民間個人経営ばかりの、中小規模ばかりで、横並びに、賃金を揃え、徳島市との平均賃金格差は150万円もあります。 先日私の職場は労働基準法違反の疑いで、三好労働基準監督署が調査に来ました。しかし、経営者が聞き取り調査に、同席し、前残業をしている事を、三好労働基準監督署が聞き取りに来ているのに事実を隠蔽するよう、圧力をかけました。その上労働基準監督署に提出する、書類に、自己都合とかけと命令までされました。このような、ブラック企業が、大半を閉めてるのが県西部を衰退させる原因だと思います。確かに少子高齢化の上でわ、医療介護が、不可欠ですが、働き手がこのような、ブラックな状態で、働いていてわ、サービスの質にも、影響します。県立三好病院でも、前残業は、常態化しており、医療介護の分野の、働く人々が疲弊し、人手不足が顕著な状況だと思います。まずは県立三好病院から前残業の廃止、後残業も無いように、業務改善や、給料のアップや処遇改善を行わないと、民間は絶対に変わることはありません。県が、医療介護施設、病院の、勤務状況の、実態調査を行い、行政指導等の強い措置がなければ、なり手もですが、働き手が不足するだけです。労働局と、徳島県が取り組むなければならない、直近の課題です。県西部の闇をなくすようしてくださいお願いします
4	40代	三好市	リスクリングに資する講座設置について	林業架線作業主任者について他県では経験年数を短縮できる講座を開講しているが、県木材創造センターの講座では短縮扱いになるのかも不明で、講習期間も短い。三好林業センターも含めて講座内容を拡充した方が良いと思う。また、再エネの伸びで第3種電気主任技術者が不足している。大阪府のテクノ講座が参考になるが、県テクノセンターを活用して取得講座を設けてはどうか。他に技能講習の開講数が少なく、他府県に足を運んで受講しないと県内で受講できないものも多い。就労支援の観点からも県内公的教育機関の有効活用をもっと図らないと施設を遊ばせていても経費がかかるだけで県収入にもならない。もっと既存施設をしっかり活用して欲しい。
5	30代	鳴門市	産業振興について	○後藤田正純徳島県知事様が「徳島県経済技術開発区」を創設して、海外の資本、海外の高度人材(博士号の学位を有する外国人・特許発明者など)、海外の高度最新先端技術(次世代半導体産業・量子工学産業・航空宇宙産業・バイオ遺伝子工学など)、海外の高度最新情報を徳島県に呼び込んで、徳島県全体の産業振興をしてください。
6	30代	鳴門市	産業振興について	○後藤田正純徳島県知事様が主体となつて、地域地場産業の産業振興をしてください。 ※ 阿波しじら織り、阿波手漉き和紙、阿波足袋、阿波筆筒、阿波鏡台、阿波御膳味噌、阿波醤油、撫養塩、阿波遊山箱など
7	30代	鳴門市	産業振興について	○後藤田正純徳島県知事様が百人以上雇用できる百社以上の企業立地で産業振興をしてください。 ※自動車製造生産工場、航空機製造生産工場、電子機器製造生産工場など